

ワカテのキモチ

メタデータ	言語: Japanese 出版者: Fisheries Research and Education Agency 公開日: 2025-02-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2013464

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



国立研究開発法人
水産研究・教育機構
Japan Fisheries Research and Education Agency

ワカテ の キモチ





ご挨拶

総合力で水産の未来を科学する

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

理事長 中山 一郎



水産研究・教育機構は、水産業が抱える課題を解決するため、さまざまな分野の研究開発と人材育成を行っています。私たちの水産研究の歴史は長く、2022年に125周年を迎え、これまでも水産の抱える課題について研究に取り組んできました。

最近の国際情勢の変化や急速に進む地球温暖化、地震被害の影響もあり、水産業は大きな変化の時を迎えています。今までどおりが通用しない状況に対応しながら、持続可能な資源確保に向けて新しい視点で努力していくことが必要です。特に国内での食料自給率向上のために日本の水産物を供給できるようにし続けることは、私たちの責務と感じております。

新たな課題に立ち向かうには若い人の力がなくてはなりません。これまでの常識や慣例を飛び越えた柔軟な発想や、グローバルな視点で水産業の未来のために、ぜひ力を貸していただきたいと願っています。

機構では研究開発職だけでなく、調査船を運航する船舶職、さけます類のふ化放流などに携わる技術職、研究支援を行う一般職、人材育成を行う教育職など、さまざまな活躍の場があります。この冊子では、機構の若手職員たちが、それぞれの職種や分野で、やりがいやチャレンジしたいこと、機構の魅力を紹介しています。

「おいしいさかなをいつまでも」私たちが掲げるビジョンステートメントのもと、日本の水産業を開拓する人材を求めています。私たちと共に、新しい水産大国日本を目指し、生きがいをもって楽しくチャレンジしてみませんか。

ビジョンステートメント

おいしさかなをいつまでも

私たち、水産研究・教育機構は水産大国日本の未来を拓きます

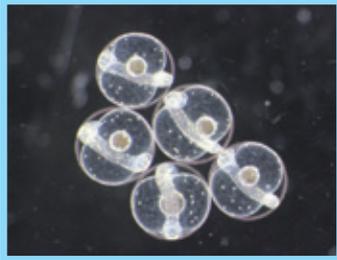
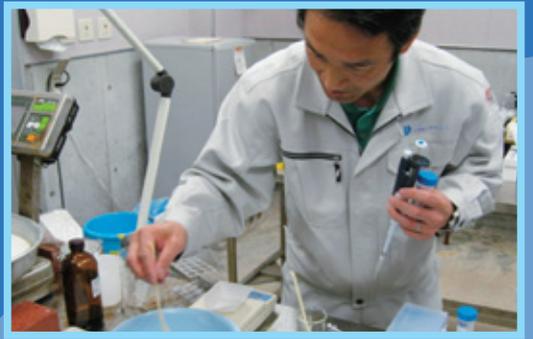
そのために、私たちは、

- 1 科学的なデータを基に持続的な水産業に向けて、水産資源生物、水圏生態系や生産システムの研究開発を進め、伝統を大切にしつつ水産にイノベーションを起こします。
- 2 多様な才能を活かして生きがいをもって楽しく集い、相互を尊重しあいます。専門性の高い教育機関として、水産の未来を担う人材を育みます。
- 3 個々人が誇りを持ったプロフェッショナルとして責任を果たし、総合力を発揮して、社会やステークホルダーから信頼される組織であり続けます。



目次

4 ~ 5	職種紹介
6 ~ 9	研究開発職
10	技術職
11	船舶職
12 ~ 15	一般職
16 ~ 17	水産研究・教育機構ってどんなところ？
18 ~ 19	広報施設紹介



「水産物の安定供給の確保」と「水産業の健全な発展」を軸に、水産物の生態や海洋環境の調査研究、船や漁業の技術開発など、水産に関する基礎から応用、実証に至る研究開発を行う仕事です。

ほとんどの技術職員は北海道内の各さけます事業所に所属しています。サケ科魚類の親魚の蓄養、選別、採卵、人工受精で受精卵から稚魚を放流するまでの業務を行い、飼育のスペシャリストを目指して日々技術の研鑽に努める仕事です。



研究開発職

職種

技術職





船舶職 紹介

沿岸を含む日本周辺海域から遠洋海域において、各研究所、水産大学校所属の調査船・練習船を運航し、生物資源調査や海洋環境調査などに携わります。安全な航海と適切な船舶維持・管理が仕事です。

研究者をはじめとする職員が円滑に業務を進めるためのサポートをしています。物品・役務の調達や、職員とその家族が安心して暮らすための社会保険の手続き、知的財産の保護や広報など、業務はさまざまです。



研究力を高めるには うってつけの環境

ひがしぐち かず なり

東口 胤成

水産資源研究所 水産資源研究センター 浮魚資源部

なぜ水産研究・教育機構へ？

きっかけは幼い頃から持っていた魚への興味です。物心が付く前から家族と水族館や釣りに行っていたことで、大学は迷わず水産系を志望しました。大学で水産資源のダイナミックな変動とメカニズムに魅了されました。就職しても魚の研究をしたいと思ったからです。



仕事の内容を教えてください！

現在、サバ類・マイワシ資源の動態を調査しています。担当業務は大まかに資源評価、北太平洋漁業委員会 (NPFC) の対応、乗船調査です。資源評価では、各都道府県に提出していただいた漁獲量データを取りまとめ、太平洋のサバ類・マイワシの資源状態を診断し、将来予測を行います。NPFCの対応では、北西太平洋で漁業をしている日本、中国、ロシアなどの漁獲状況に関する情報やデータの共有です。乗船調査では、北西太平洋において(日付変更線近くまで行くことも!) 2週間~ 1か月程度調査を行います。漁業と異なるアプローチで資源量に関するデータを集め、資源評価に活用します。



職場の雰囲気は？

研究者や調査船の乗組員の先輩に支えられ、日々業務に励んでいます。着任1年目ですが、資源評価やNPFCで提示されたデータの取りまとめなど、スケールの大きい業務でとてもやりがいがあります。知らないこと、分からないこともあり、ミスもありますが、経験豊富な先輩方にフォローしてもらい日々奮闘しています。大きな会議や乗船調査後のバーベキューなど、職場外での楽しみもあります。

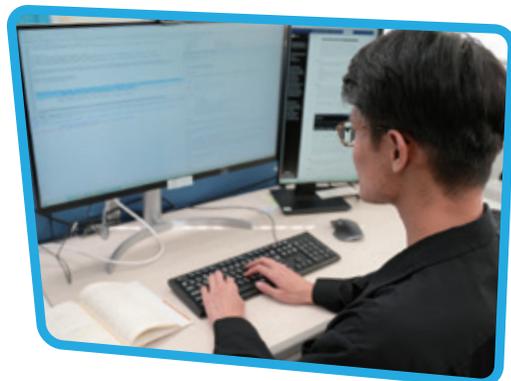
周囲の方から
一言コメント

- 釣り好き、魚好きを活かして水産研究を究めて！
- 大阪出身やのに職場では標準語。たまには大阪弁でしゃべってみたい。



機構の魅力、良いところは？

一番の魅力は、研究できる環境が整っていること。日本全国から水産資源のデータが集積され、さまざまな分野で活躍している経験や知識が豊富な先輩方がいます。先輩方に助けられながらも自らの成長を感じています。研究力を高めるにはうってつけです。



“自分の研究も 今後の糧になるのだ”と モチベーションが上がります

えのもと

榎本 めぐみ

水産資源研究所 水産資源研究センター 浮魚資源部



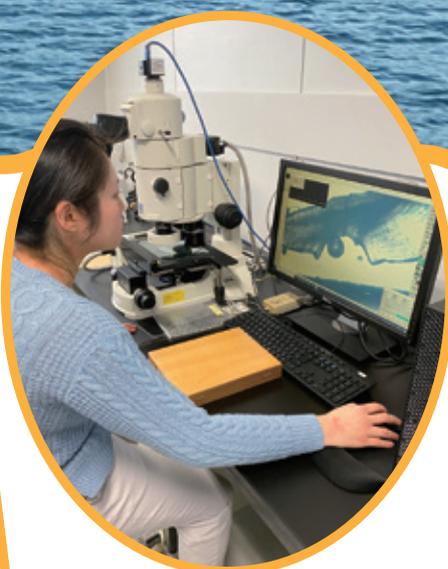
なぜ水産研究・教育機構へ？

大学院でマアジの研究をしていた時、共同研究で何回か機構の庁舎に行き、乗船調査にも参加したことがきっかけとなって、機構で働くことに興味を持ちました。また、専門ではない人に自分の研究を伝える「科学コミュニケーション」に興味がありました。機構なら行政や漁業者と対話する機会もあり、自分の興味を実践できると考えたことも一つです。



仕事の内容を教えてください！

現在はマルアジ・ムロアジ類の資源評価を担当しています。また、大学院で研究していたマアジの生物特性や生活史の解明も目指していて、魚のサンプリング、測定、生息地の評価や回遊履歴の推定の研究もしています。時期によって調査船に乗ることもあり、デスクワークから野外調査、魚にふれる仕事まで幅広く行っています。



職場の雰囲気は？

実は大学院でお世話になっていたのが、現在の職場である長崎庁舎の浮魚資源部でした。初めての九州暮らしだったのですが、経験豊富な皆さんには日ごろから業務だけでなく生活面でも、大変お世話になっています。採用されて初めて取り組んだ資源評価だけでなく、学生時代から続けてきた研究も非常に親身に相談にのってもらい、心地良く業務や研究に取り組んでいます。目の前が海という立地も素晴らしく、調査準備もスムーズです。疲れた時に海を見てリフレッシュしています。



機構の魅力、良いところは？

研究者という立場で、同じ研究者だけでなく、行政や漁業の現場に携わる方々と直接話す機会が多いので、自分の業務や研究が水産の現場にどのような影響を及ぼすのか肌で感じられます。

研究面では、過去に保管されてきたものも含めて魚体サンプルが手に入りやすいのが嬉しいです。未知の部分も多い魚の生活史を研究する時、実際に毎日海で魚を見る漁師さんの話を聞くことで“自分の研究も今後の糧になるのだ”とモチベーションが上がります。

周囲の方から
一言コメント

榎本さんの何事にも前向きで一生懸命な姿に周りの同僚も刺激を受けています。丁寧で真摯な仕事ぶりを見てると、安心して仕事を任せられます。



時に自由、時に真剣
議論飛び交う、
メリハリのある職場

ふじの
藤野 くるみ

水産技術研究所 環境・応用部門 沿岸生態システム部



なぜ水産研究・教育機構へ？

高校生の時、ナポレオンフィッシュ（メガネモチノウオ）という魚が絶滅危惧種であることに衝撃を受けたのが一つのきっかけでした。その後、海洋生物の資源状況などについて調べていくうちに、水族館やスーパーで当たり前のように目にする生物も、実は絶滅の危機にさらされている場合があると知りました。そんな環境を変えるにはどうしたらいいのか？水族館でしか海の世界を知らなかった私は、大学に入ると日本各地の臨海実習に飛び回りました。漁師さんと知り合いになり、魚も捌けるようになり、だんだんと水産の立ち位置からその問いの答えにアプローチできたらなあ、と思うようになりました。そして、研究だけでなく教育や普及などさまざまな分野で活躍でき、また日本各地の水産の現場で起きている問題の解決に貢献できる機構に入りました。



仕事の内容を教えてください！

私の所属しているグループは、沿岸の浅海域において、藻場造成や藻場生態系とその保全・再生をテーマに研究をしています。月に1回は九州沿岸の地先に潜り、海藻の植生調査や環境計測をして、県の水産試験場や漁師さんと連携しながら研究を進めるなど、チームとして動くことも多いです。他にも、アワビやサザエなど生き物の飼育をはじめ、藻類培養や磯根資源の資源評価などいろいろなことをしています。



職場の雰囲気は？

研究者はやはりどこか変わった人が多いですが、時に自由で、時に真剣に議論が飛び交う、メリハリのある職場だと思います。お昼には卓球をする賑やかな笑い声や剣道の素振りをする声、フルートの音色が聞こえてきたりと、のびのびとした雰囲気があります。



機構の魅力、良いところは？

国の機関として各地先の現場の声を聞き入れ、時には日本各地の庁舎の研究者や海外の研究者とも連携できるスケールの広さと柔軟さが魅力だと思います。そして、フィールドでは現場の漁師さん、研究所では十人十色の研究者たち、会議では大学の先生や行政の人とも仕事ができる多様さも、楽しくやりのあるところだと思います。

周囲の方から
一言コメント

藤野さんはグループ内のムードメーカー的存在！採用2年目ですが、今年度は所内プロジェクト研究のリーダー、フランスで行われた国際シンポジウムでの発表と、大活躍しています！

実際の漁船に乗って調査 漁業現場を知るには 最適の職場です

すずき だい ち
鈴木 大智

開発調査センター 漁業第一グループ



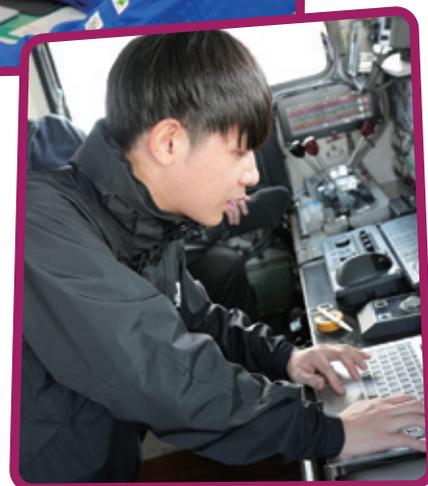
なぜ水産研究・教育機構へ？

大学ではアカイカの日齢と遺伝の解析をしていました。これは開発調査センターがアカイカ漁場開発の一環として資源構造を明らかにするために進んでいた研究です。私もさらに踏み込んだ研究をしたいと考え、機構に入りました。4年たった現在でも開発調査センターでアカイカ研究を続けるとともに、スルメイカの研究にも参画しています。



仕事の内容を教えてください！

私は、主にいか釣り漁船で乗船調査を行い、アカイカの漁場探索技術の開発をしています。日本のいか釣り漁船は、広大な北太平洋でアカイカを漁獲していますが、近年、漁場発見が困難となっています。そこで海洋モデルや衛星ブイ、環境DNAなどの技術を用いて漁場探索の効率化を図る研究に取り組んでいます。また、小型いか釣り漁船で、スルメイカの漁場探索やLED漁灯による省エネなどの研究もしています。



職場の雰囲気は？

開発調査センターは機構の他の研究所とは少し様子が異なります。人数は事務職を合わせて50人ほどですが、乗船している調査員も多く、職場で全員そろふことがほとんどありません。数か月ぶりの会話もよくあります。それでも職場の雰囲気は明るく、少人数で上司との関係も密です。分からないことがあればしっかりサポートをしてくれます。

周囲の方から
一言コメント

現場の調査から解析までマルチにこなし、漁業者とも仲良くやれる若手(20代!!)のホープです。まわりにも活気を注入しつつ、目下、学術論文の発表に向けて奮闘中！



機構の魅力、良いところは？

漁業現場を知るには最も適した職場です。“現場ではどのような問題が発生し、何が求められているのか？”、漁船に乗り、漁業者と直接話して一緒に考えることで、本当の課題が見えてきます。その中でできることを見つけ、自らの研究にもつなげられる職場です。また、多様な分野の研究者と連携して課題に取り組むことも魅力の一つだと思います。



こやくまる はやと
小役丸 隼人

水産資源研究所 さけます部門 資源増殖部

自然や釣りが好きな方には最高 休日は雄大な自然や食文化を満喫

なぜ水産研究・教育機構へ？

幼いころから魚の飼育が趣味で、学生時代も「魚の飼育を生涯の仕事にしたい！」と心に決めていました。そんな中、インターンシップで千歳さけます事業所を見学した際に、職員の方々からさけます類のふ化放流事業の重要性や面白さについて、直接聞くことができたのが就職の決め手になりました。



仕事の内容を教えてください！

さけます類のふ化放流業務、沿岸調査や回帰親魚に関する調査業務、民間増殖団体などに対する技術普及業務など多岐にわたります。ですが、全ては「さけます類の資源増大」という一つの大きな目標に向けたもので、奥深くてやりがいにあふれています。また、実際のフィールドでの作業が多いので、自然や釣りが好きな方には最高の職場だと思います。



摂餌状況を観察して
種苗の健康状態を確認中



無事発生が進んでいる卵を
選別している様子



サケの鱗を観察して年齢を調査



職場の雰囲気は？

公的機関ですが「お役所的な職場環境」ではなく、気さくで風通しの良い職場です。さけます類に特化した職種なので、仕事でも(休憩中でも)一日中さけます類の話が飛び交います(笑)。さけます類の飼育経験がなくても、先輩が丁寧に教えてくれるので大丈夫です！(私自身、就職するまでさけます類の飼育経験はありませんでした)



機構の魅力、良いところは？

さけます技術職の魅力は、「ワークライフバランスに優れ、安定した職場でさけます類の種苗生産業務及び調査業務に特化したキャリア形成が可能であること」だと思います。この点は、民間企業や他の公的機関にはない大きな魅力です。また、勤務地は主に北海道内となりますが、これも魅力の一つです。休日は本州にはない雄大な自然や食文化を満喫するため、つつい遠出してしまいます(笑)。もし、少しでも仕事内容に興味があったら、さけます技術職として私たちと一緒に働いてみませんか？

周囲の方から 一言コメント

さけます類のふ化放流業務は、多くの同僚や関係団体と協調・連携しながら進めていく必要があります。なので、さけます技術職は技術力そのものよりも、むしろコミュニケーション能力が求められる職種です。小役丸さんは仕事も着実にこなす一方で、いわゆる「愛されキャラ」として、チームの潤滑剤としての役割も担ってくれています。チームをまとめる立場としては、非常にありがたい存在です。



さとう たくま
佐藤 琢磨

船舶管理課 船舶予備員

航海士だけでなく 操船だけでなく調査にも参加

なぜ水産研究・教育機構へ？

もともと生物を採集するフィールドワークが好きで、その延長として海洋調査に魅力を感じました。大学の乗船実習で、調査船には海上という厳しい制約がある中、効率よくデータを得る、さまざまな工夫が施されていることを学び、商船にはない魅力を感じました。調査船の航海士として働きたいと思うようになり、トロールをはじめとする漁業調査の他、海洋観測を行っている機構に入りました。



仕事の内容を教えてください！

現在は、航海士の船舶予備員として勤務しています。船舶予備員とは、特定の調査船に配属されていない船員のことで、普段は横浜の研究所に勤務し、要請があった場合、船舶へ派遣されます。乗船していない時は、書類作成の他に資格取得や技能向上のための勉強に取り組んでいます。派遣期間中は航海士として、航海当直に従事し、調査内容によっては漁獲物の選別や釣獲調査などの支援をしています。船舶予備員は複数の船舶の調査に参加できるため、新鮮で勉強になります。



職場の雰囲気は？

乗船中は陸上に比べると不便なことも多いですが、快適に過ごせるよう乗組員全員が努めています。各部コミュニケーションを大切に、調査を安全第一で遂行できるように業務に従事しています。船舶管理課では、船舶予備員はそれぞれ派遣先が違って、全員そろえることは少ないですが、派遣先での土産話を聞くのが楽しい瞬間です。



機構の魅力、良いところは？

天候などで思い通りに調査が進まないこともありますが、研究に必要なデータを入手し、無事に航海を終えることができると大きな達成感があります。また、航海と休暇のスケジュールが決まっているため、休暇中の予定を立てやすく、趣味の時間でリフレッシュできます。そして何より、研究に貢献できる点が魅力です。ブリッジでの観測操船だけでなく、現場での漁獲物の仕分けなどの調査業務に参加でき、魚や海に関する知見が深まります。魚や海が好きの人にとっては確実に魅力的な職場になると思います。

周囲の方から
一言コメント

- まじめで気づかいのできる青年です。言われたことをメモに取り、仕事を正確にこなすので、現場での評価も高いです。
- いろいろな船に乗れる船舶予備員のうちに多くの船に乗って、幅広い操船技術を身につけてください！



福利厚生が充実 出産・育児も安心

うらもと まい
浦本 真衣

水産技術研究所 管理部門



なぜ水産研究・教育機構へ？

食に関して興味がありました。食料供給に携われる仕事がしたいと思い、日本の豊かな水産資源の供給と向上を担う機構の存在を知り、研究のサポート部門である事務職員を希望しました。出産・育児も無理なく長く働き続けられる場所に勤めたいと思ったことも率直な理由です。



仕事の内容を教えてください！

契約業務を担当しています。主に消耗品類の物品調達、分析・調査、レンタカーや会議用の会場の借上げ、廃棄物処理といった役務の契約を担当し、契約規程に基づいて合理的で効率的な業務を意識して取り組んでいます。感謝の言葉をいただいた時は、自身の業務が貢献しているとやりがいを感じます。困ったときや疑問があれば、知識経験豊富な上司・先輩が教えてくれるので、自身のスキルUPにもつながっています。



職場の雰囲気は？

私が所属する管理部門は、業務推進チームと管理チームで構成されており、チーム内・チーム間での連携を取りながら、問題があればその都度打合せを行うなどして業務を円滑に進めています。そのため、それぞれの業務内容を把握することができ、急用で休む場合も他の職員に業務をお願いする調整もしやすく、休みやすい環境だと思います。私も子どもの発熱などで急遽お休みすることがありますが、チームの皆さんの協力のおかげで、仕事にも育児にも余裕が持て、大変ありがたいです。

また、年に一度ある職場全体のバーベキューなどで、研究職員の方々との交流も深めています。



周囲の方から 一言コメント

- 若手を引っ張るしっかり者でがんばり屋さん。チームのムードメーカーです。
- 誰からの相談にも笑顔で対応、わがチームにはなくてはならない存在です。
- いつも元気で、親身になって相談に乗ってくれる優しいお姉さんの存在です。



機構の魅力、良いところは？

事務職員はジョブローテーションを行っています。多岐にわたる業務を経験して知識を蓄えることで業務の幅も広がり、さまざまな角度から研究者をサポートすることができます。長く働くほど、仕事がより面白くなることは魅力の一つだと思います。衛生管理者や知的財産管理などの研修なども積極的に受講できます。

また、福利厚生が充実し、妊娠中に体調不良でたびたび休むことがありましたが、上司の理解もあり、特別有給休暇を取得できたおかげで、無理なく仕事を続けることができました。他にも、時短勤務や子どもの看護休暇・育児時間など休暇制度が整っているので、仕事と家庭の両立ができる点も良いところです。

得意なことを 仕事に生かせるチャンス 控えめに言って最高ですね

なか はら あきのり

中原 明紀

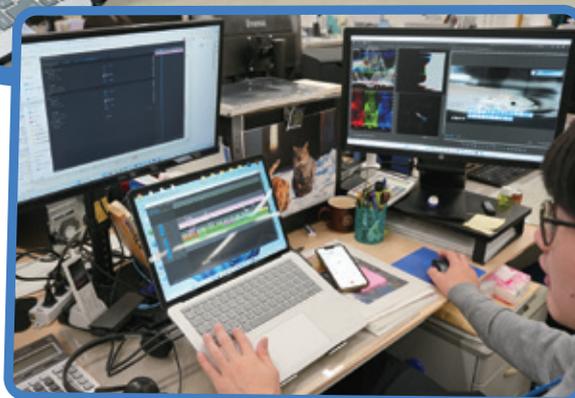
本部 経営企画部 広報課



なぜ水産研究・教育機構へ？

大学は水産と全然関係ない分野を専攻していましたが、釣りと魚が大好きだったので常に身近に魚の話題があり、魚の研究をしている専門家が近くにいるという環境に魅力を感じ、機構に入りました。

それ以外にも、北は北海道から南は沖縄県まで、本当にいろいろな場所に庁舎があることにも魅力を感じました。特に石垣島で勤務できるチャンスがあるのはかなりの魅力です。



仕事の内容を教えてください！

主にイベントの企画立案、動画制作、WEBサイトの更新などを担当しています。

イベントの企画立案では、大型の展示会や機構イベントの運営まで幅広く行っています。動画制作では、機構のさまざまな取り組みや研究成果を紹介する企画、撮影、編集をしています。最近では、SDGsに関する機構の取り組みを紹介する動画を制作しました。

WEBサイトの運営では、WEBページやSNSの更新を担当しています。最近、WEBサイトのリニューアルを行いました。初めての経験だったので大変でした。



職場の雰囲気は？

職場の雰囲気はとても良いです。みな明るく笑顔で接してくれて、とても働きやすい環境です。同じフロアから笑い声がよく聞こえてきます。

また、先輩は親切で、分からないことや困ったことがあれば、すぐに教えてくれるので、安心して仕事に取り組むことができます。



機構の魅力、良いところは？

業務が幅広く、得意なことを仕事に生かせることが魅力だと思います。私は趣味で動画の撮影や編集をしていたので、仕事に生かすことができているのが楽しいです。

また、どこの庁舎も海や観光地が近くにあり、休日やアフターファイブも楽しめます。以前勤めていた庁舎は、溪流や湖が近くにあったので、仕事の行き帰りに釣りをしていました。控えめに言って最高ですね。

周囲の方から
一言コメント

- 「こんがらがっている」無理難題も立ち向かう若手です。
- 動画撮影・編集は彼なしでは考えられません。
- いつもにこにこ笑顔で難しい仕事も周りを味方につけて、上手にこなしてくれています。新しい課題も調べてやりぬくガッツが素晴らしい！なんでもできちゃうオールラウンダーです。



まつばやし ゆうか
松林 侑佳

水産大学校 校務部

きれいな海の近くで働ける 推し活にも絶好

なぜ水産研究・教育機構へ？

理由が二つあり、一つは親戚が漁師で市場によく行って、日本の水産業の発展を支えている人のサポートをしたいと思ったこと。もう一つは大学で西洋史学を学ぼうほどの根っからの文系ですが、地元には研究機関が多く、身内に研究者もいたので、研究機関の仕事に興味があったことです。



仕事の内容を教えてください！

主に教職員が出張する際の旅費計算を担当していて、他に謝金支出や外勤、公用車などを使う人の手続きなども行います。管理課は他の係が担当していない業務もフォローするので、さまざまな業務があります。



職場の雰囲気は？

穏やかで気さくな方が多く、全体的に和気あいあいとした雰囲気です。分からないことがあったときや行き詰まったとき気軽に相談でき、とても働きやすい環境です。



機構の魅力、良いところは？

水産業の発展に研究で貢献する機関でありながら、水産を担う人材育成機関も持つところは、他の団体にはない魅力かなと思います。

海に近い庁舎が多いため、毎日きれいな海を眺められるのも魅力的です（海をバックに「推し」のぬいぐるみ、プロマイド、アクリルスタンドなどの撮影をする「推し活」ができるのもお気に入りです）。釣りやマリンスポーツなどが好きな方にはもちろん、海やお魚が好きなお方にとっても大変魅力的な職場だと思います。職場に優しい方が多いので、休暇を計画的にとりやすい雰囲気も良い点だと思います。

周囲の方から
一言コメント

いつも粘り強く仕事に取り組む松林さん、周囲を明るくしてくれる存在でもあります。その調子でこれからも頑張ってください。

水産研究・教育機構って どんなところ？

海が近い！

景色がいい！

北は北海道德志別、南は沖縄県石垣島など全国各地に勤務地があり、海や川はもちろん、自然の多いところでのびのびと働くことができます。



近くの観光スポット



南伊豆庁舎から望む夕日



北から南まで
勤務地が幅広い！



ふーちゃん

マスコット
キャラクター

ふっくん

各地で
イベント開催・出展！
～地元密着～

研究した内容を広く知ってもらうため、水産に関わるさまざまなイベントに参加、出展しています。また、毎年各地の研究所で行う一般公開は、多くの人で賑わっています。



一般公開(タッチボール)



一般公開(魚の冷凍標本)



釣りのフェスティバル

海洋都市横浜ろみ博



幅広く研究が
できるのはここだけ
珍しい魚も？



クロマグロ陸上水槽

● 研究所・庁舎・事務所の位置



他にはない？
船や広報施設



機構では調査船・練習船を合わせて9隻所有しています。
また、千歳にはふ化放流の歴史や仕組みを学べる広報施設が、日光には雄大な自然の中でさけます類の生態を観察できる皇室由来の広報施設もあります。

機構内での交流も活発！



毎年開催の研究所対抗サッカー大会や、他にもテニス、卓球など、機構内の交流も活発です。スポーツだけでなく機構主催の写真コンテストが開催されたりと、機構内イベントも充実しています。

わくわくがいっぱいじゃ

マスコットキャラクター あんじい



各地にある研究所が統合してきた歴史ある機構。釣りに関する古文書や魚のはく製、長い研究の中で得られた貴重なデータや資料を保有しています！

長い研究の歴史…
貴重な資料あり



トド生態調査

クロマグロ、ウナギ、サケやマス…主に食べる魚を中心に、中にはトドやクジラを対象にした研究も！他にも海洋環境の調査や漁法、船の研究・開発などなど、幅広く研究しています。



模型を用いた性能試験



江戸時代の絵本
えほんはつづのゆに
「絵本龍之部」



歌川広重の描いた「さかなつくし」

現存する日本最古の釣り専門書
かぎんく
「何羨録」

ピックアップ

広報施設紹介



ふっくん



●さかなと森の観察園

栃木県日光市中禅寺湖のほとりにある機構の広報施設です。ここでは研究所の敷地の一部を公開しており、内水面（河川や湖沼など）にすむ「さけます類」について学ぶことができます。園内では、中禅寺湖に生息するレイクトラウトをはじめ、さまざまな種類のさけますの仲間やチョウザメなどが観察でき、さかなたちに餌をやることもできます。

◆開園時間

3月20日～10月31日 9:00～17:00（入園は16:30まで）

11月1日～11月30日 9:00～16:00（入園は15:30まで）

※冬季は休園しています

〒321-1661 栃木県日光市中宮祠2482-3

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 日光庁舎

（開園期間中）TEL:0288-55-0160 FAX:0288-55-0083

（冬季休園中）TEL:0288-55-0055 FAX:0288-55-0064



さかなと森の観察園



ご利用・お問い合わせの詳細はWEBページをご確認ください。

URL: <https://www.fra.go.jp/nikko/>



オリジナル
トートバッグ
販売中!



あんじい





●千歳さけますの森 さけます情報館

北海道の千歳川上流の豊かな自然に囲まれた場所にある、機構の広報施設です。さけます類のふ化放流の歴史や仕組み、生態などを、展示や魚とのふれあい体験を通して楽しみながら学ぶことができます。

千歳さけますの森のある千歳さけます事業所は、明治21年、現在に繋がる官民一体の本格的なふ化放流事業の始まりである官営千歳中央ふ化場がつくられた由緒ある場所でもあり、現在でも日本最大級のふ化放流事業の施設となっています。

◆開館時間

10:00～16:00

◆休館日 火曜日、年末年始(12月27日～1月5日)

※変更となる場合がありますので、詳しくはWEBをご確認ください

〒066-0068 北海道千歳市蘭越9番

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所 千歳さけます事業所

TEL:0123-23-2804



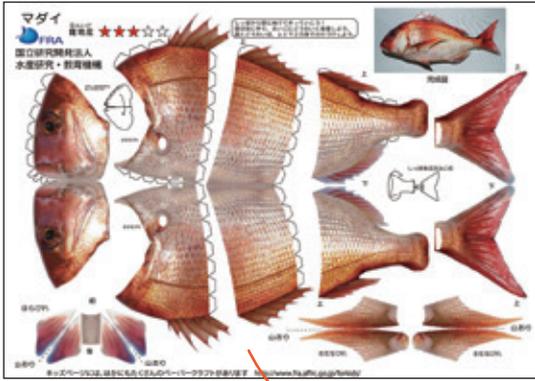
ご利用・お問い合わせの詳細はWEBページをご確認ください。

URL:<https://www.fra.go.jp/sakemori/>



バズってます!

オリジナルペーパークラフト



キッズページのペーパークラフトをご存じですか? できあがりがとてもリアルで、本物みたい! SNSでも何度かバズってます。WEBサイトから無料でダウンロードできます。その数100種類以上!

https://www.fra.go.jp/forkids/kids_pr_fun_paper-craft.html



イカの乾燥機



なごも釣れしも
魚もイカも
みんせ



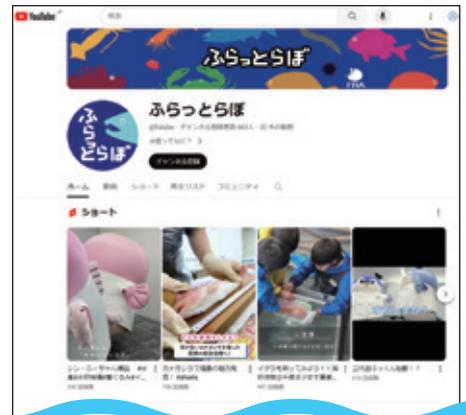
できあがりかわし

バズりたい!



ふらっとらぼ

YouTubeチャンネル、「ふらっとらぼ」は水産やわかネタの動画集。新作もどんどんアップしています。見てね!
<https://www.youtube.com/@fralabo>



こだわりの読み物

FRA NEWS おさかな瓦版

魚や海の研究について、一般向けに発行している刊行物。WEBサイトで無料公開中!

FRANEWS

年4回発行



<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/book/franews.html>



おさかな瓦版

年6回発行



<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/book/kawaraban.html>

その他にも機構や水産についての情報を各種SNSで発信しています! 問い合わせはWEBサイトまで。



Facebook

<https://www.facebook.com/fra.go.jp>

X (旧Twitter)



https://twitter.com/fra_go_jp



YouTube

<https://www.youtube.com/@frachannel>

お問い合わせ



<https://www.fra.go.jp/toiawase.html>



ワカテのキモチ

発行年月: 2024年3月

編集・発行: 国立研究開発法人水産研究・教育機構

〒221-8529

神奈川県横浜市神奈川区新浦島町1-1-25

テクノウェイブ100 6階

<https://www.fra.go.jp/>

デザイン: アンクベル・ジャパン株式会社

